

令和6年2月号

摂津ポップセんにりおか保育園

暦の上では立春ですが、まだまだ寒い日が続きます。

スープやみそ汁など温かい食べ物は体の中から温めてくれるので、朝食に温かい食べ物をおなかに入れ、元気に登園しましょう。

2月の行事と食べ物

●節分●



節分とは、もともと、暦の上で季節が分かれ目にあたる立春、立夏、立秋、立冬の前日を「節分」といいましたが、その中でも立春は新しい年が始まるとされていたため、その前日は1年の最後の日として特別な意味をもつようになり、この日だけを「節分」というようになりました。

昔は病気や災害は鬼の仕業とされ、新年を迎えるために悪いもの(鬼)をおいだし、よいもの(福)を招き入れるために、“豆まき”や“やいかがし”をする風習ができました。

豆まき



節分の夜に豆まきするのは、豆に宿った穀物の霊の力で鬼を追い払えると考えられていたためです。

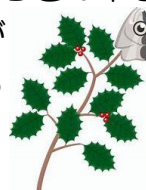
豆まきの豆は大豆がよく使われていますが、北海道などでは落花生を使うところもあります。

豆まきのあとに、自分の年の数か、年より一つ多い数だけ豆を食べると病気にならず健康に過ごせるといわれています。

やいかがし

ひいらぎという葉のついた木の枝に火であぶったいわしの頭をさし、玄関や窓などに結びつけ、鬼が入ってこないようにすることです。

鬼はいわしをあぶった臭いが苦手といわれており、ひいらぎの木を使うのは、とがった葉が鬼の目をさして追い払ってくれるからといわれています。



1月の食育活動



1月9日の午後おやつに七草風粥を提供しました。食べる前、みんなに七草セットを見てもらいました。

子どもたちは普段見慣れない七草に戸惑っていましたが、慣れてくると七草を一つ一つ見たり、匂いを嗅いだりしていました。その後、七草の一つである、すすな(かぶ)が入ったお粥を「美味しい!」と言いながら食べていました。